



巻頭言

循環器内科 教授 / わかばやし こうへい 若林 公平



4月1日より、昭和医科大学江東豊洲病院 循環器内科の教授・診療科長を拝命いたしました。当科は10名の常勤スタッフがひとつとなり皆さまの健康を支えるために日々邁進しております。私たちの使命は、「皆さまの心臓と血管を守ること」です。各部門の専門医が議論を重ね、患者さんに最善の治療法を選択しています。チーム力を結集し、治療困難な重症患者さんに対しても最善の医療を提供してまいります。

当科の3つの大きな特徴

1. 24時間・365日の救命救急対応

- ・迅速な緊急カテーテル対応：一分一秒を争う急性心疾患に対し、昼夜を問わず迅速に検査・手術を行える体制。
- ・心臓集中治療室：重症患者さんを救命するための環境整備。

2. 体への負担が少ない「低侵襲カテーテル手術」

- ・TAVI（経皮的動脈弁置換術）：年間60～70症例。城東エリア唯一の「TAVI 専門施設」「透析 TAVI 施設」。
- ・マイトラクリップ（経皮的僧帽弁接合不全修復術）：2019年から認定施設となり100症例以上の実績。
- ・PCI（経皮的冠動脈インターベンション）：年間約360症例。慢性腎臓病の患者さんのためのZero-contrast PCI（造影剤不使用の治療）は、この領域で世界をリード。
- ・不整脈アブレーション治療：年間約300症例におよぶ豊富な実績。

3. 地域に根ざした「2人主治医制」

- ・当科の役割：正確な診断、専門的な治療、急性期の入院加療
- ・かかりつけ医の役割：日常的な健康管理、慢性期の治療
- ・緊密な連携：慢性期にも要所で当科が責任を持って診療を継続

地域の皆さまへ：心臓からのサインを見逃さないために

心臓は、限界ギリギリまで症状を出さずに頑張ってしまう臓器です。「少し息切れがするけれど、年のせいかな?」「健康診断で心電図の異常を指摘された」など、軽い症状や無症状であっても、実は重症な病気が隠れていることが多々あります。「少し気になるな」と思われた段階で、どうぞお早めにご相談ください。



第148号のトピックス

- ・巻頭言（循環器内科）
- ・公開講座動画公開のお知らせ、面会制限の一部緩和について、セタイイベント開催報告
- ・薬剤部より ～進化するチーム医療の要として～
- ・ご意見・ご要望
- ・編集後記

第22回公開講座動画公開のお知らせ

令和8年6月7日（日）に当院で開催した、「第22回（令和8年度第1回）公開講座『見逃さない！痛みから見る体の不調』」の講座内容の一部を、7月1日（水）～9月3日（木）の期間限定で公開しています。ぜひご覧ください。

こちらのQRコードから
ご覧いただけます →



『暮らしと健康・見逃さない！痛みから見る体の不調』

演題：「頭痛について -その痛み、放っておいても大丈夫?-」

演者：昭和医科大学江東豊洲病院

脳神経外科 教授 杉山 達也（すぎやま たつや）

面会制限の一部緩和について

令和8年7月1日（水）より、面会制限を一部緩和しています。院内感染防止のため、ご来院の際は、引き続きマスクの着用と感染対策へのご協力をお願いします。

詳しくは当院ホームページをご覧ください。

【面会条件】

◎面会時間：13：00～20：00（時間制限なし）

※ICU 病棟、NICU 病棟、こどもセンター病棟、
周産期センター病棟の面会についてはお問合せください。

◎面会人数：人数制限なし

※未就学児の面会は、ご遠慮願います。

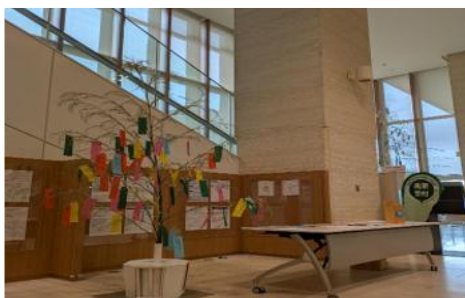


Report

七夕イベント開催報告

少しでも院内で季節を感じ、心穏やかひとときを過ごしていただけるよう今年も院内に笹飾りを設置しました。

6月29日から7月7日までの期間中、笹の葉には患者さんやご家族のみなさまの思いが詰まった、色鮮やかな短冊が次々と結ばれました。一枚一枚に込められた大切な願いごとをお寄せいただき、本当にありがとうございました。揺れる短冊が院内を優しく彩ってくれました。





昭和医科大学江東豊洲病院 薬剤部 ～進化するチーム医療の要として～

薬剤部長
柏原由佳

医療の世界は日々進化していますが、私たちの想いは、患者さん一人ひとりに寄り添ったお薬の治療を提供することです。そのために、専門知識に磨きをかけ、病棟や地域医療の現場へと能動的に介入し、確かな医療の提供を目指しています。

徹底した臨床業務と「顔の見える」チーム医療

当院薬剤部の強みは、病棟・外来への薬剤師の配置と、チーム医療への積極的な関与です。

多職種との情報共有

病棟や外来で、医師や看護師をはじめ、その他の専門職の方々と日々情報を共有し、お薬による副作用の出現を防ぎ、正しく有効にご使用いただけるよう常に目を光らせています。そして、薬剤師の視点から処方提案を行っています。



外来化学療法室での患者さん面談

がん化学療法の進め方や副作用の対策を詳しく説明しています。つらい症状や不安をしっかりと聞き取り、患者さんに寄り添う治療をサポートしています。



専門チームでの活躍

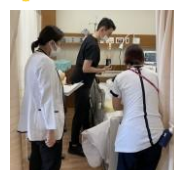
緩和ケアチーム、栄養サポートチーム、褥瘡対策チーム、感染対（ICT/AST）、リエゾンチームなど、多職種で構成される各種専門チームにおいて、薬の専門家の視点から、様々な情報提供をしています。



栄養サポートチーム



緩和ケアチーム



褥瘡対策チーム

業務効率化と安全性向上を両立する、調剤業務のタスクシフト

薬剤師には、患者さんの視点にたった臨床業務の充実や、医薬品の高度な安全管理がこれまで以上に求められています。私たちは、これらを最優先課題と捉え、従来の調剤業務の機械化を推進するとともに、調剤アシスタント（薬剤SPD）へのタスクシフトを行っています。これらによって捻出できた時間で、薬剤師が専門性を最大限に発揮できる環境を整え、薬物治療の質の向上、医薬品安全のさらなる向上に努めています。



軟膏混練機 マゼリータ



注射薬自動払出システム



散薬調剤ロボット DimeRo



薬剤SPDによるピッキング



【薬薬連携】地域の保険薬局との双方向ネットワーク

情報収集と医師へのフィードバック

地域の保険薬局の薬剤師が服薬指導中に気づいたアドヒアランスの低下、副作用症状、他院での重複投薬、治療に対する患者さんの本音などは、トレーシングレポート（服薬情報提供書）等を介して薬剤部へ集約されます。

切れ目のない医療の実現

収集した重要情報は、病院薬剤師から主治医へフィードバックし、次回の処方設計や治療方針に反映させます。また、病院薬剤師も退院時に薬物治療についてのサマリーを保険薬局や転院先の施設に送っています。病院薬剤師と保険薬局薬剤師が強固に連携することで、退院後や外来通院中も途切れることのない安心・安全な医療を提供しています。

大学病院としての教育・研究体制の確立

昭和医科大学の「臨床研修薬剤師制度」は、屋根瓦式の教育体制をとっています。先輩である2年次研修生（PGY2: Post Graduate Year 2）やシニア薬剤師、プリセプターが1年次（PGY1）をマンツーマンに近い形でサポートする、安心の指導体制が整っています。自身が経験した症例の学会発表も行っています。

薬剤師間での日々の症例カンファレンス



我々薬剤師は、患者さんにとって「頼りがいのある薬物治療のサポーター」であり続けたい、そう思って日々邁進しております。

ご意見・ご要望

ご意見	回答
病室やトイレの水回りについて、水が飛び散り汚くなります。蛇口の先に何かつけてほしいです。 	この度はご不便をおかけし、大変申し訳ございません。また、貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。ご指摘いただきました病室・トイレの水回りにつきましては、蛇口の清掃及び水量を調整することで対応いたしました。  回答：管理課

編

集

後

記

連日の厳しい暑さに、青空に広がる入道雲や賑やかな蝉の声がいっそう夏本番を感じさせる 8 月となりました。今月はお盆の帰省や各地での夏祭り、夜空を彩る花火大会など、日本の伝統的な夏の風物詩を満喫される方も多いのではないのでしょうか。楽しいレクリエーションに夢中になり、水分補給を忘れがちになります。喉が渴いたと感じた時には既に脱水が始まっています。どうかこまめな水分補給を忘れず、時には涼しい室内での休憩を挟みながら、無理をせず、ご自分のペースで楽しんでください。

また、近年は夜間でも気温が下がりにくく、室内での熱中症も増えています。「まだ大丈夫」と過信せず、こまめな水分補給やエアコンの適切な利用を心がけ、この酷暑を乗り切っていきましょう。

暦の上では「立秋」を過ぎて秋へと向かう時期ですが、実際の残暑はまだまだ厳しく続きそうです。どうぞ体調に気をつけて、健やかな日々をお過ごしください。



臨床検査室 沖山 清香



昭和医科大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>

〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38

TEL03-6204-6000(代表)

発行責任者：横山 登 編集責任者：大槻 克文



昭和医科大学江東豊洲病院
ホームページ



SHOWA Medical University Koto Toyosu Hospital